

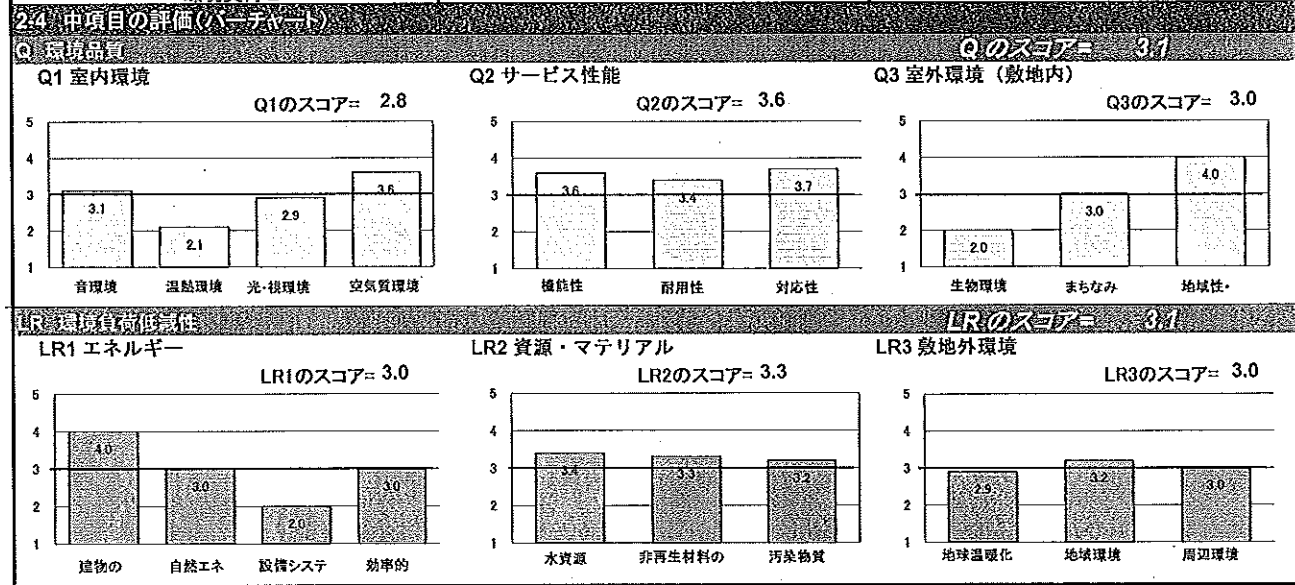
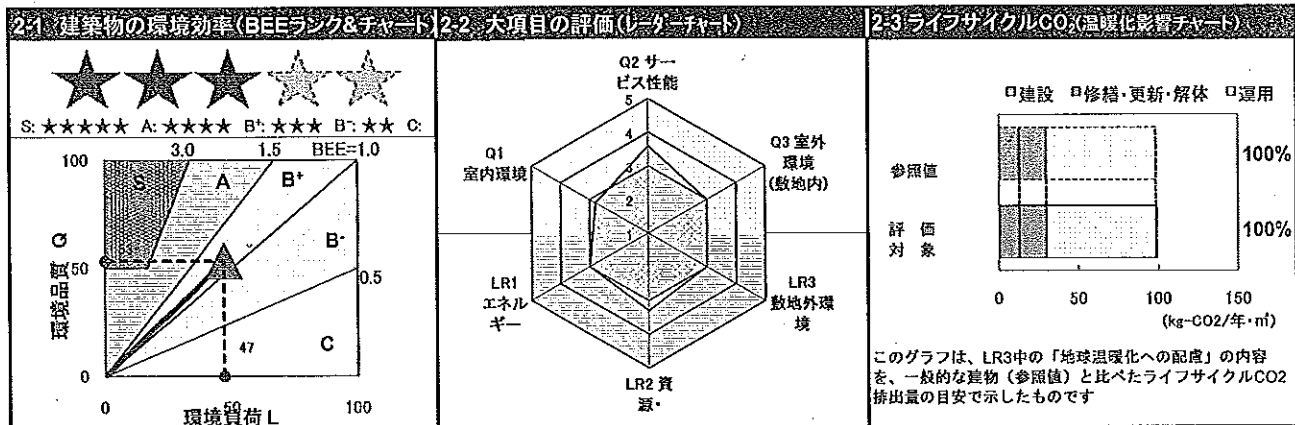
# CASBEE™ 新築

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (2007年暫定版) ■使用評価ソフト: CASBEE-NC\_2007(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	総合教育実習及研究棟	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市横島町千足80-1番地	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,660 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	1,890 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年6月 予定	評価の実施日	#####
敷地面積	62,536 m <sup>2</sup>	作成者	#####
建築面積	3,364 m <sup>2</sup>	確認日	#####
延床面積	11,542 m <sup>2</sup>	確認者	#####

外観ベース  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>敷地内の構内道路に沿って既存建物と並列して配置し、南側・西側にピロティ 側・南側建物とのアクセスを可能とした。 建物との調和を図り、計画建物の一部を地域に解放とする為、人に優しい建物とした。</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における 廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物 自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮 の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ☆☆☆採用に依る汚染物質の発生抑制</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・計画建物の方式の歩居を設定して西 ・敷地内の緑地の確保及び既存 ・建築基 ・耐法の1.2倍の耐震性 ・間仕切り変更の可能な乾式音間仕切の採用</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・設備機 器の屋上集申設置 ・既存緑地の確保</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・高効 率F H照明器具の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・擬音 装置・節水型便器・自動水栓の採用 ・井水の上下水利用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・調理 ・透水性舗装の採用 ・外積緑化</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質・性能)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい